

未来を拓く Active School Kai Project

概要

- ◆ **改** 主体的・対話的で深い学びの視点による**授業と学習評価の改善**に向けた取組を徹底し、生徒の学習意欲の向上と、教員の指導改善を図る。
- ◆ **回** 学習指導要領の理念とスクールミッション、スクールポリシーに基づき、各学校の教科等の指導において育成する資質・能力を定め、達成状況の評価と改善を図るP D C Aサイクルを**回す**。
- ◆ **開** 学校全体及び各教科の目標と、指導・評価・改善の取組について、生徒・保護者に積極的に通知するとともに、年度末に各校のホームページで**公開**し、**社会に開かれた教育課程**を実現する。
- ◆ **Kai** 1人1台端末を活用して、**kai.ed**で繋がる生徒と教員が情報活用能力を高め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実する。またそのための校内研修体制を確立する。

具体的な取組内容

教科等の指導改善

育成する資質・能力等に基づく教育課程編成

- ・スクールミッション、ポリシーの策定
- ・学習指導要領及び学校の教育目標に基づいた各教科等が育成する資質・能力を3観点で明確化
- ・教科横断的な学びの場面の設定

教育課程の検証・改善

各校の達成指標例（学校評価・アンケート等に盛り込む）

- ・学校が育成する資質・能力等を職員と生徒が共有した。
- ・年間指導計画に基づき、教員間で指導と評価の方法を共有した。
- ・学習評価の方法と規準を生徒・保護者に説明した。
- ・学習評価の結果を適切に生徒・保護者に通知し、指導改善に用いた。
- ・資質・能力等が身に付いたか生徒にアンケートを行い、結果を指導改善にいかした。
- ・校内研修（ICT含む）、授業研究の機会を増やして授業改善に取り組んだ。
- ・すべての教員が1人1台端末を使った授業を実践した。

Activeな学びの実現

- ・各科目の年間指導計画作成
- ・生徒が主体となる授業の実施
- ・指導者間での協働体制、校内研修体制の確立
- ・授業での1人1台端末の利活用

点検

学習評価の改善

- ・評価方法と評価規準を生徒・保護者に説明
- ・観点別学習状況の評価の実施
- ・資質・能力について生徒アンケートを実施して到達度の確認
- ・学校の取組について保護者等へのアンケート実施

改善

取組内容の共有・公開

生徒・保護者に対して

- ・指導目標、学習内容、学習評価方法、学習評価結果、指導改善について（中間・年度末）

地域・社会等に対して

- ・事業報告書（教育目標・各教科の取組の事業評価結果と次年度への課題）の公開。
- ・学校運営協議会、学校評議員と共有。

ToDo

R4年度

R5年度

R6年度

R4入学生
学力目標
設定

生徒授業アンケート
保護者等アンケート

事業
中間評価
検証・改善

生徒授業アンケート
保護者等アンケート

事業
年次評価
検証・改善

1,2年次で実施

1～3年次で実施

事業の
検証・改善
HP公開